

「せんにゆうかん」観劇記

10月8日に行われた「明星学苑創立100周年を祝う会」の懇親会に飛び入り参加して下さった江藤潤さんからご案内頂いた舞台「せんにゆうかん」を見た（11月11日）。父親役の江藤潤さん、娘役の稲村梓さん、衣裳北村静香さんはいずれも明星学苑出身。

今後の再演（初演は2010年、今回は4度目の公演）も予測されるので、あらすじの詳細は省略するが、病後身体の動きのままならなくなった父親を介護する娘と訪問介護をする二人のケアマネジャー（金田賢一、Marcy）、近所の二人の主婦（長谷川真弓、森岡朋奈）の繰り広げる悲喜こもごもが展開する。登場人物たちがそれぞれ抱える先入観が人と人の触れ合いの中でどのような展開を生み出すのか、またそろそろ軽い認知症の症状も出始めた父親は死をどのように捉えているのか、この国が当分は抱えて行かねばならない重い問題を主題としながら、軽妙な台詞の応酬が醸し出す善意と温みに救いが感じられる舞台となっていた。（写真は、終演後の拍手に応え、それぞれが演じた役柄について語る出演者の皆さん。）

☆同窓会は今後も各界で活躍する卒業生の活動を紹介いたします。是非、お出掛けください。

